

入会に際して

中村寿一郎（元東京都公務員）

私は都内の自宅と約 130km 離れた、富士北麓の個人観測小屋(標高 1,040 m) に時々をかけて星を見ている天文愛好家の一人です。数年前、国内の主な、眼視観測可能な光学天文台で、自分の観測場所より標高の高い天文台はどこかと興味を持ち、理科年表(2003 年版)で調べたところ、京都大学飛騨天文台(1,275m)と、北軽井沢駿台天文台(1,111m)の 2 箇所あることを知りました。最も標高の高いところにある、飛騨天文台に見学に行きたいという気持ちになりました。月刊誌「天文月報」で、飛騨天文台が一般公開していることを知り、平成 16 年に応募し、この年は台風で中止となり、翌年に再び応募し、見学を果たすことができました。

この見学で、京都大学では、太陽の研究に重点が置かれていることを知りました。私も太陽には特に関心を持っており、できる限り毎日、太陽黒点のスケッチをして、インターネットで配信される、SOHO 衛星、ひので衛星等の、可視光以外の映像との比較検討も行っています。

飛騨天文台を見学した後、花山天文台はどんな施設なのかと興味が湧き、見学したいと思うようになりました。平成 18 年、花山天文台の一般公開に応募したところ、抽選にはずれてしまいました。翌、平成 19 年にも応募しようと思っていた矢先、「NPO 法人花山星空ネットワーク会員の募集」の案内が届きました。この案内は私にとって「渡りに舟」、「猫に鯉節」でした。入会すれば、確実に施設見学ができリピーターにもなれると思ったからです。さらに、以前から機会があったら、ボランティア等で社会貢献ができればいいと考えていたからです。

平成 19 年 11 月 10 日の花山天文台の観望会に、ボランティアとして参加させていただきました。ボランティアに参加してみると、人との交流を通し、今まで触れることのなかった、いろいろな天文情報にも接することができました。これからも、ボランティアに、できるだけ参加させていただきたいと、考えています。

以上です。よろしくお願いいたします。